



平成23年度 成人式

『はたち』の誓い

千葉 雅博さん
(16区)



家の人や友達に支えられて成人式を迎えることができた。これからは地域に貢献できるように頑張っていきたい。



千葉 祐加さん
(10区)

先生や友達、そして親のおかげで無事成人式を迎えられた。将来は立派な看護師になって東北地方に貢献したい。

岩淵 智真さん
(9区)



みんなと久しぶりに会えてとてもうれしかった。大学を卒業したら、親に恩返しできるように頑張っていきたい。

平成23年度の成人式が8月15日、平泉文化遺産センターで行われ、対象者88人のうち74人が出席し、大人としての第一歩を踏み出しました。

式典では町長のあいさつ、町議会議長の祝辞などに続いて、新成人に記念品が手渡されました。また橋階大輔さん(16区)が「向上心を持って努力していき、感謝の気持ちとはたちの決意を忘れず、誇りを持って頑張っていきたい」と成人としての決意を述べました。

式典後のアトラクションでは、



▶成人の決意を述べる橋階さん

中学生時代に記録した写真などを披露。成人式実行委員会(千葉瑞稀委員長・委員8人)の進行で大いに盛り上がり、笑い声と拍手が絶えない成人式となりました。

▶恩師のスピーチに会場内は大盛り上がり



▶毛越寺大泉が池には「先祖供養」や「震災復興」などの願いが込められた灯籠が水面を照らした



町内をを優しくともした「夢灯り」(写真左は毛越寺ポケットパーク。右は旧観自在王院庭園)



優しい灯りが 古都のまちを包み込む

8月16日恒例の大文字送り火が開催され、駒形峰に「大」の文字が赤々と浮かび上がりました。また毛越寺大泉が池には、約1000個の灯籠が浮かべられ穏やかな水面を照らし、旧観自在王院庭園や毛越寺通り、中尊寺通りなどには、約3000個の夢灯りがともされ、町内は優しく幻想的な雰囲気になりました。

平泉を掘る

食べ物や部材を切るときなどに使う刃物の手入れに使われる石をいいます。砥石を置いて刃物を当て、研いだり磨いたりして、使いやすく切れ味を良くします。砥石の形や大きさはさまざまですが、ようかんの様な形や角柱の物が多いようです。使い込んですり減り、へこんだり元の形が分からなくなって出土する場合があります。

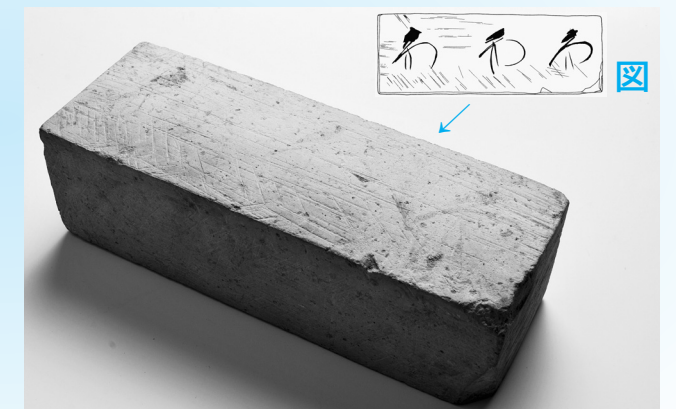
現在も使われている物なので、発掘調査で出土した場合、他の遺物と違い、年代が分かり難い物の一つです。一緒に出土した他の遺物と比較したり、出土した遺構の性格から判断します。

重要文化財に指定された砥石は、柳之御所遺跡、志羅山遺跡、中尊寺跡から出土した15点です。粘板岩や砂岩、凝灰岩などで作られ、長さが5.4~22.8㍍、幅は

発掘最前線⑨⑨

重要文化財紹介(その4) - 「砥石」 -

3.0~8.2㍍です。1点には「わわわ」の文字が墨書されていました。



柳之御所遺跡から出土した砥石